

札幌管区  
気象台からの  
お知らせ

## 大雪や暴風雪による 災害への備え

北海道における暴風雪や大雪は、低気圧が北海道付近を通過するときや冬型の気圧配置で季節風が強まるときなどに発生します。

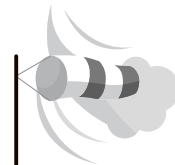
また、石狩・空知・後志地方では、石狩湾付近に小さな低気圧が発生した際には局地的に短い時間で暴風雪や大雪になることがあります。



暴風雪や大雪の特徴として、低気圧の移動速度が速い場合や地形が急に開けた場所では、風の強さや見通しが急激に変化することや局地的な大雪になることなどがあります。

これにより吹雪や吹き溜まり、視界不良による道路規制や交通機関運休、飛散物による電線断線での停電、大雪による倒木やビニールハウスの倒壊など、さまざまな形態の災害が起きるおそれがあります。

気象台では、暴風雪や大雪により重大な災害が発生するおそれがある場合、「暴風雪警報」や「大雪警報」を発表して、警戒を呼び掛けます。最新の気象情報や雪の状況をテレビ・ラジオやインターネットなどにより確認し、暴風雪が予想されているときは、無理をせずに外出は控えましょう。



■札幌管区気象台 HP

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/index.html>



↑ コチラから

お問合せ先 札幌管区気象台天気相談所 ☎ (011) 611-0170